



Human Rights Now

Human Rights Now

特定非営利活動法人ヒューマンライツ・ナウ

110-0005 東京都台東区上野 5-3-4

<http://hrn.or.jp/>

クリエイティブ One 秋葉原ビル 7F

電話:03-3835-2110 FAX:03-3834-1025

Email: info@hrn.or.jp

2016年8月15日

トルコ政府に対し、国際人権法の尊重と拘束・職権一時停止中の弁護士・裁判官・検察官の職務遂行の全権利を回復することを要請する

1. 背景

2016年7月15日に起きたトルコのクーデター未遂事件は、1万人を超える市民の生活に影響を及ぼしている。2016年7月20日にトルコのエルドアン大統領によって宣言された「緊急事態」の名の下に、「クーデター首謀者」や「反政府者」などの疑いをかけられた人々が逮捕、拷問、レイプ、あるいは殺害されている¹。メディアの報道によると、事件後間もなくトルコ政府は、役人、公務員、軍関係者をターゲットにした一大粛清を行い、拘束された人の数は1万人以上にのぼる。公式・非公式の拘置所に拘束された人々は、長時間苦痛を与える姿勢を強いられたり、食べ物や水、医療、家族や弁護士への連絡などを拒否されたりしているほか、暴力、性的嫌がらせ、拷問などの対象になっている²。

国際人権NGOヒューマンライツ・ナウは、トルコにおける人権状況について重大な懸念を表明するとともに、人権侵害を止めるために即座の措置が取らるよう要請する。何よりもこのような深刻な人権危機の中で、弁護士・裁判官・検察官らの職務遂行の権利を奪っている一斉拘束・職権一時停止処分に対して重大な懸念を表明する。

2. 政府の弾圧と「緊急事態」

¹ Turkey suspends European Convention on Human Rights in wake of attempted coup. Independent. 21 Jul. 2016. <http://www.independent.co.uk/news/world/europe/turkey-coup-attempt-human-rights-president-erdogan-purge-turkish-military-a7148166.html>

² Turkey: Independent monitors must be allowed to access detainees amid torture allegations. Amnesty International. 24 Jul. 2016. <https://www.amnesty.org/en/latest/news/2016/07/turkey-independent-monitors-must-be-allowed-to-access-detainees-amid-torture-allegations/> (referencing witness statements made directly to AI).

クーデター未遂事件翌日の2016年7月16日、トルコの裁判官・検察官最高評議会は最高裁判官を含めた2745人の裁判官の職権を一時停止し、拘束する指令を出した³。そのうち541人の裁判官が行政司法、2204人が犯罪司法に携わっている。これはトルコ国内における全裁判官の約36%にも及ぶ人数である。さらには、2人の憲法裁判官を含む約755人の裁判官や検察官らが、クーデター未遂に関連したことを裏付ける証拠もないまま拘束されている⁴。これらの弾圧に加えて、トルコ政府は全体主義政権によく見られるような法律を次々と制定している。2016年7月20日、エルドアン大統領は最低3か月間の緊急事態を宣言した。その結果、首相及び政府は議会を通さずに決定・支配できる権限を法的に得ることになった⁵。その翌日、トルコ政府代表者は、緊急事態中は欧州人権条約(ECHR)の基準に従うことを一時的に停止する旨を発表した。さらにエルドアン大統領は、有罪ならば拘束者の数は増え続け、必要ならば死刑制度の復活も考慮していると述べた⁶。7月23日、政府は緊急事態下で出された第一法令のもとに、告発前の拘束期間を4日から30日に延長することを決定した⁷。それにより、政府はクーデター関連容疑者を告発なしで最長30日間拘束できるようになり、弁護士との会話なども政府が全て盗聴するという事態となっている。⁸

3. トルコの人権的義務

トルコにおける人権は国際法条約のもとに保護されており、国際法は国の法律より優先されなければならないことが1982年憲法第90条で定められている⁹。さらにトルコ憲法第15条は、緊急事態下でも政府は「欧州人権条約(ECHR)」加盟国としての義務を放棄することができない、必要な場合でも最低限に限られた幾つかの人権基準に従うことを一時停止することしかできない、と定めている¹⁰。さらに、トルコは2003年に「市民的および政治的権利に関する国際規約(International Covenant on Civil and Political Rights, ICCPR)」を、2006年にはICCPRの「選択的議定書」(Second Optional Protocol to the ICCPR)を批准しており、そのどちらもが死刑を禁じている¹¹。ICCPR第4条は、条約または選択的議定書の内容に従うことを全面的に放棄することを禁じており、緊急事態下でも最低限必要な幾つかの人

³ UN human rights chief urges Turkey to uphold rule of law in response to attempted coup. UN News Centre. 19 Jul. 2016. <http://www.un.org/apps/news/story.asp?NewsID=54492#.V6J0qeRTHv9>

⁴ Human Rights Monitoring Group Update-July21, 2016. Gazette. The Law Society of Upper Canada. 21 Jul. 2016. <http://www.lawsocietygazette.ca/news/human-rights-monitoring-group-update-july-21-2016/>

⁵ Turkey crackdown by the numbers: Statistics on brutal backlash after failed coup. Amnesty International. 26 Jul. 2016. <https://www.amnesty.org/en/latest/news/2016/07/turkey-crackdown-by-the-numbers-statistics-on-brutal-backlash-after-failed-coup/>

⁶ Turkey coup attempt: Erdogan signals death penalty return. BBC News. 19 Jul. 2016. <http://www.bbc.com/news/world-europe-36832071>

⁷ Amnesty International, supra, n. 2.

⁸ Turkey detainees tortured, raped after failed coup, rights group says. CNN World. 27 Jul. 2016. <http://www.cnn.com/2016/07/26/europe/turkey-coup-attempt-aftermath/>

⁹ Constitution of the Republic of Turkey. Retrieved. 3 Aug. 2016. https://global.tbmm.gov.tr/docs/constitution_en.pdf

¹⁰ Amnesty International, supra, n. 5.

¹¹ International Covenant on Civil and Political Rights (ICCPR). United Nations Human Rights. Retrieved. 3 Aug. 2016. <http://www.ohchr.org/en/professionalinterest/pages/ccpr.aspx>; Second Optional Protocol to the ICCPR, 15 Dec. 1989; <http://www.ohchr.org/EN/ProfessionalInterest/Pages/2ndOPCCPR.aspx>, Art. 1.

権基準に従うことを一時的に停止することしかできないとしている。例え特定の人権の一時停止が許されているとしても、生存権、拷問禁止、差別禁止、遡及的犯罪の禁止を一時停止することは、緊急事態下でさえ ECHR と ICCPR 共に禁じており、宗教の自由の一時停止は ICCPR によって禁じられている¹²。その上、トルコ政府の拘束された人々に対する冷酷で非人道的な扱いと、司法・教育・メディア分野の専門職者に対する職権一時停止処分や解任処分は、「ヨーロッパ人権条約 (European Convention for the Protection of Human Rights and Fundamental Freedoms)」や「欧州拷問等防止委員会 (European Convention for the Prevention of Torture and inhuman or Degrading Treatment or Punishment)」などトルコが署名したその他の条約の人権保護義務にも違反している。¹³

4. 提言

以上のことから、ヒューマンライツ・ナウはトルコ政府に対して以下の措置を要請する:

- 法の支配に従い、国際人権条約加盟国としての義務を尊重して、「逸脱不可能な人権」である生存権、拷問の禁止、差別の禁止、遡及的犯罪の禁止、宗教の自由を含む市民の人権を保障すること。
- 拘束・職権一時停止処分中の弁護士・裁判官・検察官が職務遂行するための全権利を回復し、法的助力や司法を必要としている人々に奉仕できるようにすること。
- 拘束されている人々に対する暴力・拷問・性的嫌がらせや、食料・水・医療・家族や弁護士の訪問の剥奪など、あらゆる人権侵害を止め、すでに人権侵害を受けた拘束者に対して効果的な救済を行うこと。

以上

¹² The non-derogable clauses are provided in ECHR Art 15 and ICCPR Art 4. Right to life (ECHR: Art 2, ICCPR Art 6) torture (ECHR Art 3, ICCPR Art 7), freedom of religion (ICCPR 18), No ex post facto crimes (ECHR Art 7, ICCPR Art 15), non-discrimination (ICCPR Art 4, ECHR Art 14).

¹³ *Ratification of International Human Rights Treaties-Turkey*. Human Rights Library. University of Minnesota. Retrieved. 3 Aug. 2016. <http://hrlibrary.umn.edu/research/ratification-turkey.html>; *European Convention for the Protection of Human Rights and Fundamental Freedoms*. European Court of Human Rights. Council of Europe. Retrieved. 3 Aug. 2016. http://www.echr.coe.int/Documents/Convention_ENG.pdf; *European Convention for the Prevention of Torture and Inhuman or Degrading Treatment or Punishment-Text of the Convention and Explanatory Report*. Council of Europe. Retrieved. 3 Aug. 2016. <http://www.cpt.coe.int/en/documents/eng-convention.pdf>.